

# カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成27年3月7日
主管学校名	富山大学人間発達科学部附属幼稚園
PTA会長名	笥 薫

実施概要	主管校	富山大学人間発達科学部附属幼稚園
	交流校	富山大学人間発達科学部特別支援学校
	実施活動名	七夕コンサート
	実施日時	平成26年7月7日10:50~11:30
	実施場所	特別支援学校体育館
	実施目的	同敷地内にある2校の交流を促進し相互理解を深める
	実施内容	七夕にちなんだ内容のコーラス・パペット劇・装飾を行う
	実施方法	幼稚園PTAが企画・運営・製作し特別支援学校と協力しコンサートを開催した
	参加人数	約100名

報告事項	内容	<p>幼稚園のPTAサークル（グリーンコーラス部・おはなし会・アトリエ・ヴェール）とPTA保健体育部が企画、運営、製作をし、七夕にちなんだ内容のコーラス・パペット劇・装飾を特別支援学校で行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>グリーンコーラス部</td> <td>おはなし会</td> </tr> <tr> <td>ハンドベル：ミッキーマウスマーチ</td> <td>10びきのかえるの七夕祭り（パペット劇）</td> </tr> <tr> <td>コーラス：きらきら星</td> <td></td> </tr> <tr> <td>線路は続くよどこまでも</td> <td></td> </tr> <tr> <td>星に願いを</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小さな世界</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Jupiter</td> <td></td> </tr> </table> <p>アトリエ・ヴェール 司会・装飾</p>	グリーンコーラス部	おはなし会	ハンドベル：ミッキーマウスマーチ	10びきのかえるの七夕祭り（パペット劇）	コーラス：きらきら星		線路は続くよどこまでも		星に願いを		小さな世界		Jupiter	
	グリーンコーラス部	おはなし会														
	ハンドベル：ミッキーマウスマーチ	10びきのかえるの七夕祭り（パペット劇）														
コーラス：きらきら星																
線路は続くよどこまでも																
星に願いを																
小さな世界																
Jupiter																
結果	<p>コンサートの総合司会を特別支援学校の生徒会役員と幼稚園保護者が行い、協力しコンサートを開催することができた。同敷地内にある2校の交流を促進し、相互理解を深めるきっかけとなる活動になった。運営の際に特別支援学校の先生からアドバイスをいただき生徒への理解を深めることができた。</p>															
所感	<p>学園内の連携や、双方の子どもたちにとって意味のある交流活動のあり方についてはまだ検討の余地があるため、特別支援学校の先生方のご意向を伺いながら、相互理解を基盤とした取組みの可能性をさらに探っていければ良いと思った。</p> <p>内容についても、小等部・中等部・高等部と年齢に幅のある生徒を対象とするので、生徒がそれぞれ楽しめるもの、参加できるもの等を考慮して、皆で楽しめるコンサートにしていけたら良いと思った。</p>															

添付書類



## カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成27年3月7日		
学校名	富山大学人間発達科学部附属幼稚園・特別支援学校		
学年		氏名	

### 生徒の様子（特別支援学校の先生より）

- ・知っている歌がたくさんあり、小・中・高ともうっとりと聴いていた。
- ・静かに、落ち着いて、楽しみながら参加していた。
- ・お話に見入っていた。

### 特別支援学校教職員からの感想

- ・歌声や姿勢などについて授業で振り返った際に、「きれいな歌声だった」「姿勢が良かった」「あんな風に歌いたい」などの感想が聞かれ、生徒たちの良い参考になりました。
- ・歌声やお話を静かに聞く、楽しむという経験をするためにも毎年コンサートに来てほしい。

## カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成27年3月7日
学校名	富山大学人間発達科学部附属幼稚園
氏名	

### 幼稚園参加保護者からの感想

・保護者サークルによる「七タコンサート」の特別支援学校での公演は、4校園が同じ敷地内にあるという恵まれた環境を生かした学園内の連携による有意義な取り組みとなりました。幼稚園の保護者にとっては、学園内の教育環境の向上に寄与することができ、異校種の子どもたちを共に育てるという意識を高めることができました。特別支援学校にとっては、生の舞台芸術の鑑賞を通して、子どもたちの情操を育む一助となる機会をもつことができました。また幼稚園の保護者を学校内に迎え入れることを通して、保護者を誘導したり、元気に大きな声で挨拶したり、司会進行をしたりするなど、児童生徒のおもてなしの心を育む良い機会ともなりました。

・歌声が生徒さんたちの心に届くと良いなと思っておりました。事前に練習時の歌声の入ったCDをお渡ししていたこともあり、聞き覚えのある歌の時にはリズムにのって体を動かしたり嬉しそうなお顔をを見せてくれたりしたので、こちらも自然と笑顔になり、会場がとてもあたたかい雰囲気に包まれたのではないかと思います。

・パペット劇の演目中は生徒さんが、楽しそうに目をきらきらさせながら観てくださり、たくさんの笑顔に出会うことができ、自分自身楽しく演じることができました。また生徒さんのお挨拶と一緒に片付けをするなど、私たちが歓迎してくださっているんだなど大変嬉しく思いました。音楽や劇を通してみんなが楽しめるということが分かり、そこから笑顔が生まれ、交流してみても初めて感じることができ、大変貴重な経験をさせていただきました。

・子どもたちの真剣な眼差しや歓声から、おはなしの世界へ引きつけられている様子が伺えました。子どもたちの笑顔やきらきらした眼差しに出会い交流できたことは貴重な体験となりました。

・7月7日まさに七夕の日というタイミングで開催された「七タコンサート」に私は初めて参加しました。特別支援学校の先生との事前の打ち合わせで、「七タコンサート」への先生方の想いや、生徒さんたちが楽しみにしていられることをお聞きして、活動の意味を再確認できました。

コンサートが始まりコーラスのステージでは生徒さんが歌に合わせて体を揺らし口ずさんだりと楽しむ姿も多くみられ、またパペット劇では熱の入った演技でみんなが物語に引き込まれていきました。

七タコンサートを通じて、校種を超えみんなで楽しいひと時を共有できたことは自分にとって貴重な体験となりました。